



# 汐鳴り

にのみや学園二宮町立二宮中学校 学校だより

3月11日号

学校ホームページ URL

<https://ninomiya-junior-high-school.edumap.jp/>

## ～3学期を振り返って～

### 卒業・修了に際して～大きな成長の礎～



卒業の「卒」には、「終える」という意味が、そして「業」には「なすべきこと」という意味があります。つまり、「卒業」には、なすべきことを成し遂げたという意味が込められて

おり、3年生に手渡した卒業証書には、「中学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。「社会に出ても自分の力でたくましく生きていける」という証明書になります。

3月から4月にかけての1か月間に大きく成長する生徒をこれまでたくさん見てきました。1か月で体が急に大きくなるわけではありませんし、急に学力が伸びるわけでもありません。では、その成長の要因は何でしょうか？それは、その人の心構えや気持ちの変化ではないかと思えます。意識の持ち方一つで、行動が大きく変わります。卒業式・修了式を控えたこの学年末という節目は、生徒が進学や進級に対する心構えをつくる大切な時期です。これまで自分が積み重ねてきた学び、仲間と築き上げてきた絆など、かけがえのない経験に自信と誇りを持ち、4月から始まる新しい生活に向けた心構えを育ててください。

### 【1月】職業に向き合う～2年生の総合学習から～



2学年の生徒たちが、体育館でポスターセッション形式により、職業をテーマに学習発表を行いました。

9月には町内にお住まいの各界で活躍されている

の方々をお招きし、それぞれ職業や生き方のお話をいただきました。11月には2日間にわたって様々な業種に分かれ、職業体験をさせていただきました。

今回の発表は、各自が関わった職業の特徴について、その意義や苦勞など、それらの体験を踏まえ、自分事としてポスタ

ーにまとめていました。同じ業種であっても、生徒によってまとめる視点が異なり、今回の発表に至るまでの間も「視野の広がり」という点で学びがあったのではないのでしょうか。

### 【2月】生徒総会～校風を受け継ぐ～



いわゆるペーパーレスによる今どきの会議らしく、全員が持参したクロームブックで議案書のデータを開いて提案者の説明を聞いていました。

前半は、3年生による各委員会の報告でした。日頃の活動自体は「常時活動」というくらい地道に取り組んでいるのですが、実際に目の当たりにすることもあまりないかもしれませんが、改めて議案書を読み、説明を聞く中で、「そうか～!」「そんなことを、そんなときに…。ありがとう!」と思う瞬間が何度もありました。

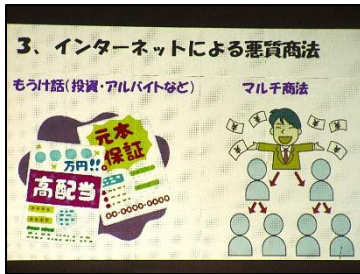
後半は、令和8年度の各委員会委員長、生徒会本部役員の紹介および承認を行いました。4月から最高学年となる2年生が緊張の面持ちで起立し、拍手多数にて生徒たちから承認されました。本部役員の生徒たちによる決意表明は、自分の言葉で、選挙演説のときとはまたひと味違うものでした。

生徒たちは日々、勉強や部活動で朝から夕方まで忙しく学校生活を送っていますが、そのような中、みんなを代表し、明日からの二宮中をつくっていかうとする本部役員や委員長の生徒たち、そして彼らを支持して一緒に学校を盛り立てていかうとする多くの生徒たち…。令和8年度の生徒会活動も大いに楽しみです。

### 【2月】消費者教育～3年生の家庭科から～

かながわ中央消費生活センターの方々をお招きし、昨今の消費者トラブルを事例に、賢く安全な消費生活を送るためのお話をいただきました。

現在、かなり多くの中学生がインターネットにアクセスできる自分自身の端末を持っている中、ネット通販やゲーム等の



課金にまつわるトラブルが非常に多くなっているとのことです。悪徳な通販等のサイトに仕掛けられた巧妙な罠にかかって高額な金銭を振り込むようなことが

ないよう、「あなただけ」「今だけ」「特別」という言葉に注意すること、「楽をして儲かる話はない」ことを教わりました。

また、18歳になればクレジットカードの契約をして使用することができますが(高校生は原則不可)、現金を持ち歩く必要がなくなる便利さはあるものの、リアルな買い物をしている感覚が薄くなること、クレジットカードの使用は本人限りであって家族でも貸し借りは厳禁であることを教わりました。

生徒によっては、進学後に学校の許可を得てアルバイトをしようという子が出てくるかもしれません。自ら働いて賃金を得ることの喜びと大変さを味わうとともに、保護者の方々の日常に思いを馳せることができるようになるでしょう。

卒業・進学は、そんなひと回り大人になる節目となりますが、生活様式や行動範囲が変わることに伴い、「消費～お金を使う～」ことについても様子が変わってくると思います。しかし、この「消費」というものは、生徒たちの日常生活の安全・安心や信用問題にも関わってくる大きなテーマです。ぜひ、ご家庭でも話題にしてください。

## 【2月】小中交流会～部活動の体験～

2月20日(金)、今年度3回目となる「小中交流会」を開催しました。今回は、中学校生活への大きな楽しみの一つである「部活動体験」を行いました。

### ○部長による紹介から、いよいよ体験へ！

交流会の冒頭では、各部活動の部長たちが活動内容や魅力を紹介。6年生は、少し緊張した面持ちながらも、先輩たちの言葉を一言も聞き漏らすまいと真剣なまなざしで見つめていました。

その後の体験タイムでは、前半・後半の二部制を導入。複数の部活動に興味がある児童も、二つの部活動を体験できる充実した時間となりました。

### ○初めての挑戦にワクワク！各部活動の様子

・**運動部**:初めて触れる競技用具やボールの扱いに苦戦しながらも、中学生のアドバイスを受けながら一生懸命に体を動かしました。

・**文化部**:初めて手にする楽器で音を出してみたり、専門的な道具を使って絵画やモノづくりに挑戦したりしました。中学



校ならではの表現活動に、小学生たちは目を輝かせて取り組んでいました。

### ○頼もしい「先輩」としての姿

今回の交流会で何より印象的だったのは、中学生たちの温かい振る舞いです。後輩となる小学生に対し、手取り足取り優しく丁寧に教える姿、そして小学生の「できた!」という瞬間と一緒に喜ぶ姿は、非常に頼もしく、中学生としての成長を感じさせる素晴らしいものでした。

小学生は4月からの生活に胸を躍らせ、中学生もまた、新たな後輩を迎える日を心待ちにしています。

## 【2.3月】読み聞かせ会～1,2年生の教室にて～



小学校では「おはなし会」という読み聞かせをしてくださる機会が年間で何度もありました(学年により回数之差はありますが)、中学校でも1年に1回、そのような機会があります。

この日、小学校でおなじみの「にのみやおはなし会」の皆さんがお越しくださり、中学生なりの新しい本の読み方、いわゆる「お話」以外のジャンルも含めた本の紹介など、中学校ならではの「おはなし会」が展開されました。

忙しい日常生活のうえ、子どもでもデジタル端末を扱うことが当たり前の状況で「読書離れ」が叫ばれている中、子どもたちは新鮮な気持ちで読み聞かせを聞いていました。毎朝、本校では8:30前後に短時間ではありますが、読書の時間を設けています。朝練や登校後の一息ついた後、心を落ち着けて1校時に臨むことにもひと役買っていますが、その大切なひとときに読む「次の本」のヒントになったでしょうか。

学校ホームページでは同様の記事をよりタイムリーに掲載しています。手軽なアクセスのために右の二次元コードをご活用ください。

